

大船渡新春四大マラソン大会

ベストを尽くし選手力走

1月8日、市民体育館前を発着とする大船渡新春四大マラソン大会が行われました。

当日は、県内各地から8種目に約1,600人が参加。日頃の練習の成果を発揮できるよう、ベストを尽くしました。

また、沿道には、選手を応援しようと応援団や市民たちが集まり、選手に温かい声援や拍手が送られていました。



さんま大漁旗コンテスト作品展示会

漁の安全と豊漁を願って

1月12日から19日まで、市内ショッピングセンターで、さんま大漁旗コンテスト作品展示会を行いました。

同コンテストは、「さかなグルメのまち大船渡実行委員会(及川廣章委員長)」が企画。会場には、さんま漁の安全と豊漁の願いを込めて市内小学生が描いた作品全216点と、入選し実際に大漁旗となった10点が展示されました。この大漁旗は、本年のさんま漁船にも掲げられます。



(11) 広報大船渡 30.2.5(No.1120)

平成30年大船渡市成人式

新成人として自覚を胸に



1月7日、リアスホールで、平成30年大船渡市成人式を行い、309人の新成人が出席しました。

式典では、戸田市長、熊谷昭浩市議会議員から新成人に向けエールが送られました。

新成人を代表して川畑大さんと船砥沙樹さんから抱負が述べられ、新成人としての決意を新たにしました。会場では、仲間たちとの再会を喜び合う姿がたくさん見られました。

第27回ふるさと・おおふなとお話大賞表彰式

お話づくりで未来に光を



1月20日、カメリアホールで、「ふるさと・おおふなとお話大賞」の表彰式が行われました。

27回目を迎える本賞には、夢やユーモアあふれる作品や、ふるさとの未来に思いを巡らせた作品が多数寄せられ、大賞には越喜来小6年の神津心さんの作品『夏の鈴』が輝きました。

入賞作品を含む全ての応募作品は、市のホームページに掲載中ですので、ぜひご覧ください。

トピックス 1

平成30年大船渡市新年交賀会

1月4日、市内ホテルで、新年交賀会を開催し、市内事業所や団体の代表者など、約230人が出席しました。

交賀会では、戸田市長の年頭あいさつに続き、鈴木俊一東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣をはじめとする来賓の方々が祝辞を述べました。齊藤俊明大船渡商工会議所会頭の発声による乾杯を行い、大船渡市のさらなる発展を祈念しました。また、結びには、熊谷昭浩市議会議員の音頭で万歳三唱が行われ、出席者は、復興と新たなまちづくりに向け決意を新たにしました。



①市の発展を願い鏡開きを行いました
②早期復興と多様な地域課題の克服に向け決意を新たにす戸田市長



トピックス 2

平成30年大船渡市消防出初式

1月14日、盛町の商店街とリアスホールで、消防出初式を行いました。

盛町の商店街では、消防団まとい組による勇壮なまとい振りやラッパ隊のラッパ演奏に合わせた堂々とした分列行進が披露されました。

式典では、統監の戸田市長の年頭あいさつ、新沼哲団長の年頭訓示のほか、無火災分団や分団特別功労の日頃の消防団活動を評価する表彰が行われました。また、式典の最後には、統制の執れたラッパ隊ドリル吹奏が披露され、出動した消防団員は、火災や災害から市民を守る決意を新たにしました。



①初めて参観した児童たちに頼もしい姿を見せた消防団員
②長期にわたる訓練の成果を披露するラッパ隊員

トピックス 3

赤崎グラウンド(人工芝)プレオープンセレモニー

12月27日、赤崎グラウンド人工芝のプレオープンセレモニーを行い、整備に携わった鹿島アントラーズの小笠原満男選手をはじめ、プロサッカー選手や気仙地区の児童約80人が参加しました。

赤崎グラウンドの人工芝化は、日本スポーツ振興センター・日本サッカー協会の助成金や日本プロサッカー選手会の寄付を受け、昨年8月から工事を実施。4月からの本格供用に向け、クラブハウスなどの整備を進めています。

サッカー教室に参加した児童たちは、人工芝の感触を感じながら元気に走り回っていました。



①プロサッカー選手との交流を楽しむ児童たち
②出席者で赤崎グラウンドの人工芝完成を祝いました